

# 令和6年度の教育に関する重点施策に基づく事務事業

総合教育会議 資料1  
令和7年2月18日  
企画部企画政策課

## 1 確かな学力や豊かな心の育成と健康・体力づくりの推進

事業名(所管課)／ 事業の進行管理・評価を行う計画等	事業概要	令和6年度の主な取組内容	令和6年度の取組(実績) 数値は速報値
<p>平和に関する学習・啓発活動の充実 (協働コミュニティ課)</p>	<p>子ども・若者平和ワークショップをはじめとした平和事業を推進する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・西東京市平和の日関連行事(4/7～12)式典、ステージイベント、パネル展等を実施し、戦争の歴史を語り継ぐ。</li> <li>・広島平和の旅(8/5, 6) 現地を訪問し、被爆の実相や戦争の悲惨さ、平和の大切さについて学ぶ。</li> <li>・子ども・若者平和ワークショップ(10/20) 主体的に平和について考えるきっかけづくりとして実施する。</li> <li>・被爆樹木二世の植樹(アオギリ)(10/31) 向台小6年生とともに植樹式を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・西東京市平和の日関連行事(4/10～14)式典、紙芝居、朗読、パネル展等を実施した。</li> <li>・広島平和の旅(8/5, 6) 参加者数:5名 原爆ドーム等の見学、平和記念式典への参列、被爆体験の伝承者との交流等を実施した。</li> <li>・子ども・若者平和ワークショップ(10/20) 参加者数:小・中学生15名、若者スタッフ19名 市民まつりにおいてもミニワークショップ、展示等を実施した。</li> <li>・被爆樹木二世の植樹(アオギリ)(10/31) 向台小学校6年生全員が参加し、児童代表が植樹や挨拶を行った。</li> </ul>
<p>環境学習事業の実施 (環境保全課)</p>	<p>友好都市である北杜市において、間伐材を使用した木工体験を行う環境学習事業を実施する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今秋に、市内の小中学生とその保護者を対象として、北杜市の広大な山林を見学するとともに、現地山林の間伐材を使用した「木工体験」や地産地消の観点から地元野菜を使用した山梨県の郷土料理である「ほうとうづくり体験」を現地の子どもたちと交流しながら実施する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・北杜市環境学習親子ツアー(11/30) 参加者数:西東京市民38人、北杜市民28人 日帰り北杜市明野町の森林伐採現場を見学、北杜市の親子との交流を図りながら、ほうとう及び木工時計作りを行った。 アンケートでは、ツアー全体の内容の満足度が4.8(5段階評価で、回答者全員の平均値)になり、「それぞれの行程で子どもにとってよい学びがあったと思います」といった意見をいただいた。</li> </ul>
<p>指導者用のデジタル教科書導入などによる教育の質の向上 (教育指導課)</p>	<p>授業において、画像や動画などを交えて教えられる指導者用のデジタル教科書を購入し、教育の質の向上を図る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校訪問やGIGAスクール構想推進委員会等で活用についての指導・助言を行う。</li> <li>・使うことを目的とせず、児童・生徒の理解の促進や、課題への取り組みやすさ等に重点を置いたり、教師の教材準備等の負担軽減にも資するよう活用の促進を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・9教科9種目(書写、地図、算数、音楽、図画工作、家庭、保健、英語、道徳)で指導者用デジタル教科書を導入した。</li> <li>・学校訪問やGIGAスクール推進委員会において、学校及び児童・生徒の実態に応じたデジタル教科書の効果的な活用に関する指導・助言を行うとともに、教材準備や提出物の集約をはじめとする業務効率化についての好事例を収集し、必要に応じて学校への情報提供を行った。</li> </ul>
<p>情報活用能力の育成 (教育指導課)</p> <p>【西東京市教育計画 1-1-③】</p>	<p>各学校において、ICTを効果的に活用する学習活動や、プログラミング教育等の充実を図る。また、家庭や地域と連携し、子どもたちがネット依存に陥ったり、ネット社会において加害者や被害者になつたりしないよう、情報モラル教育の充実を図る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・タブレットの活用方法等について、学校訪問や校内研究、GIGAスクール構想推進委員会等で指導・助言を行う。タブレットの活用を通して「個別最適な学び」や「協働的な学び」の実現に向けた授業改善を行い、タブレット活用の質的向上を図る。</li> <li>・児童・生徒のタブレットの使い方について、制限をかけるだけではなく、児童・生徒自身がどのようにICTを活用していくのかを考えていけるよう、情報活用能力を一層高めていく。また、「GIGAワークブックとうきょう」の活用を促していく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校訪問や授業研究における指導・助言の視点に「個別最適な学び」「協働的な学び」を据え、教科等の特性や学校の実態に応じてタブレットの効果的な活用が促進されるよう働きかけた。</li> <li>・全校において「GIGAワークブックとうきょう」の活用を行うとともに、ICTを活用した授業実践・デジタルシティズンシップ教育に関する研究指定校を各1校(上向台小学校、田無第一中学校)設け、校内における研究を推進し、研究成果を市内小・中学校に公表した。</li> </ul>

# 令和6年度の教育に関する重点施策に基づく事務事業

総合教育会議 資料1  
令和7年2月18日  
企画部企画政策課

## 2 子どもが健やかに育つ環境を整える

事業名(所管課)／ 事業の進行管理・評価を行う計画等	事業概要	令和6年度の主な取組内容	令和6年度の実績(実績) 数値は速報値
子ども、子育て家庭、妊産婦への切れ目のない支援 (子ども家庭支援センター)	新たにこども家庭センターを設置し、母子保健と児童福祉の一体的な相談体制を構築する中で、包括的かつ計画的な支援による児童虐待等の未然防止につなげる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・母子保健と児童福祉の一体的相談支援体制により、妊娠期から子育て期、18歳までの子どもへの切れ目のない支援を行う。</li> <li>・必要に応じて、様々な支援メニューにつなぐため、サポートプランを作成し、支援内容などを保護者や関係機関と共有する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子ども家庭支援センター(児童福祉)と健康課(母子保健)による、母子保健と児童福祉の一体的な支援を実施した。</li> <li>・3歳以下のお子様のいる世帯のうち、一般的な子育て支援よりも手厚い支援を必要とする世帯(中間層)を共有し、母子保健における事業等を通して見守りを続け、必要に応じて迅速に子育て支援サービス等につなげた。</li> <li>・サポートプランを作成し、支援方針や支援内容を明確にした。</li> </ul>
多文化キッズサロンの整備 (文化振興課)	日本語を母語としない子どもたちの地域での学習や相談、交流の拠点を、多文化キッズサロンとして整備するとともに、困りごとや悩みに寄り添い、必要な情報が届くよう多文化キッズコーディネーターを配置する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・多文化キッズサロンの拠点(ひばりが丘中学校)及びサテライトサロンの整備(保谷第一小学校、谷戸小学校、向台小学校)を実施する。</li> <li>・多文化キッズコーディネーター(4名)及びサブコーディネーター(6名)の配置を実施する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・4月1日から多文化キッズサロンを整備し、多文化キッズコーディネーター(4名)及びサブコーディネーター(6名)を配置した。</li> <li>・チラシや市HPを活用し、公共施設や学校に向けた周知を行った。</li> <li>・文化振興課、教育指導課、多文化キッズコーディネーター及びサブコーディネーターで適宜連携を取り合い、各サロンの課題等の共有を行った。</li> <li>※学習者数:延べ32名、相談件数:199件(令和7年1月現在)</li> </ul>
ヤングケアラーへの支援 (子ども家庭支援センター)	福祉・介護・医療・教育などの関係機関との連携を図り、学校などの子どもたちに身近な場所で早期に発見することで、適切な支援に繋げる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子ども自身や関係機関への啓発をすすめ、18歳までのヤングケアラーへの支援を行う。</li> <li>・東京都が実施する連絡会に参加するなど、情報収集を行い、福祉・介護・医療・教育などの関係機関との更なる連携強化を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・関係機関よりヤングケアラーについて情報提供があった場合、要対協のネットワークを活用した支援を実施した。</li> <li>・7月に東京都が実施した連絡会及び研修に参加し、情報収集に努めた。</li> <li>・児童生徒への啓発として、小・中学生向けリーフレットにヤングケアラーの内容を掲載し、市立小・中学生に配付した。</li> <li>・市ホームページに掲載を予定している、子ども向けのヤングケアラー啓発動画の作成を行っている。</li> </ul>
(仮称)教育支援総合窓口の設置 (教育支援課)	既存の相談機能の見直しを行い、(仮称)教育支援総合窓口を設置し、相談体制のワンストップ化を進める。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・10月開設を目的に、(仮称)教育支援総合窓口の設置に向けた準備を行う。</li> <li>・窓口の開設により、教育に関する相談をいつでも受けられるよう、デジタルツールを活用するとともに、ワンストップで適切な支援や支援先に繋げるなど、利便性の向上を図る。</li> <li>・不登校の相談・支援先の情報をまとめたリーフレットを作成し、窓口等で情報提供を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・11月1日から教育相談総合窓口「あったか相談窓口」を開設した。</li> <li>・これまでの電話や窓口相談のほかに、電子申請ツール(LoGoフォーム)を取り入れ、いつでも相談受付が可能になった。</li> <li>※LoGoフォームでの相談受付件数:5件(令和7年1月現在)</li> <li>・チラシやポスター、市HP、SNS、西東京の教育への掲載等を行い、保護者や児童・生徒に向けた周知を行った。</li> <li>・LoGoフォームの導入によって、子どもの相談先が分からず、相談実績がなかった保護者から相談があり、スクールソーシャルワーカーが関わり、家庭訪問や関係機関への支援につながったケースがあった。</li> <li>・不登校の相談・支援先の情報をまとめたリーフレット『西東京市における不登校児童・生徒の相談支援』を作成し、窓口等で情報提供を行った。</li> </ul>

# 令和6年度の教育に関する重点施策に基づく事務事業

総合教育会議 資料1  
令和7年2月18日  
企画部企画政策課

## 3 学校を核としたまちづくり

事業名(所管課)／ 事業の進行管理・評価を行う計画等	事業概要	令和6年度の主な取組内容	令和6年度の取組(実績) 数値は速報値
<b>地域学校協働活動推進員の全校配置</b> (社会教育課)	地域と学校が連携・協働して、地域全体で子どもたちの学びや成長を支えるためのコーディネーターとなる地域学校協働活動推進員を全校に配置し、地域の活性化に向けた多様な活動を持続的に実施するための仕組みづくりを推進する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市内小中学校全校にて地域学校協働活動推進員が配置し、地域と学校が連携・協働した取組を実施する。</li> <li>・教育課程内外を問わず、各学校の特性を利用し、学校に関わる人材や組織のネットワーク化を図るとともに、継続的な活動が実践できるよう、取組を推進する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全市立小・中学校において、地域学校協働活動推進員(地域コーディネーター)を配置(全31名)し、各校がそれぞれで地域連携・協働した取組を実施することができた。</li> <li>・より多くの学校に関わる人材や組織をコーディネートし、それらのネットワーク化を図るため、地域コーディネーターに対し研修会を実施した。</li> <li>・取組状況を各校で共有し、自校の取組へ反映させるよう努めた。</li> </ul>
<b>地域に参画する態度及び自らすすんで探究する資質・能力の育成</b> (教育指導課)  【西東京市教育計画 3-1-②】	全市立小・中学校において、総合的な学習の時間を中心に、地域の人材や資源・文化などを活用した体験的で探究的な学びを展開する「西東京ふるさと探究学習」を実施する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育課程に「西東京ふるさと探究学習」を位置づけ、各学校において総合的な学習の時間を中心とした指導計画を作成(小・中学校全校)</li> <li>・西東京市立学校教育研究奨励事業における研究指定校として「西東京ふるさと探究学習」の実践に関する研究を実施(向台小学校)</li> <li>・西東京市立学校教育研究奨励事業における研究奨励校として「西東京ふるさと探究学習」の実践に関する研究を実施(明保中学校)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全市立小・中学校において、教育課程に「西東京ふるさと探究学習」を位置付け、各学校の地域性や児童・生徒の発達段階に応じて、授業実践を行った。実践に当たっては、コミュニティ・スクール推進委員会において情報交換及び成果の共有を行った。</li> <li>・向台小学校における「ふるさとのよさに気付き、地域を誇れる心をもつ児童の育成」をテーマとした研究の成果について、研究発表及び成果物をとおして市内小・中学校に普及した。</li> <li>・明保中学校における「総合的な学習の時間を中心とした『西東京ふるさと探究学習』の単元開発」をテーマとした研究の成果について、成果物の発行により市内小・中学校に普及した。</li> </ul>
<b>学校施設開放</b> (社会教育課)  【西東京市教育計画 3-2-②】	学校教育に支障のない範囲で、地域の活動の拠点の一つとして、学校施設の開放を進める。 また、学校施設開放運営協議会などと協力して、地域住民が主体となって拠点づくりを進めるため、地域での担い手の支援のほか、新たな人材の発掘を目指す。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校施設における地域開放の在り方について、関係各署と調整し、内容を整備するとともに、学校教育の支障のない範囲で学校施設の開放を進める。</li> <li>・地域での人材確保のため、学校施設開放運営協議会に向けた支援を強化するとともに、地域学校協働活動推進員の協力のもと、新たな人材の発掘、学校を核とする人材のネットワーク化を目指していく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校施設における地域開放の在り方について、関係各署と協議を進めるとともに、学校教育へ支障のない範囲で学校施設の開放を進めた。</li> <li>・新たな地域人材確保に向けた取組として、地域コーディネーターを通じて人材の紹介を実施。また、各地域コーディネーターが持つ民間企業等の外部連携のノウハウを地域コーディネーター間で共有する場を定期的に設けたことにより、学校を核とする人材のネットワーク化を図った。</li> </ul>
<b>登下校時の安全対策</b> (学務課・教育指導課)  【西東京市教育計画 3-2-③】	保護者や地域の関係団体、関係機関等と連携・協力を図りながら、通学路の安全点検などを行うとともに、登下校時の見守り体制の整備に取り組む。	(学務課) <ul style="list-style-type: none"> <li>・登下校時の見守りに協力いただく方(団体)の募集や活動しやすい環境づくりについて検討し、協力を依頼する。</li> </ul> (教育指導課) <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域安全巡回指導員(スクールガードリーダー)を市内小学校の学校安全連絡会に派遣し、学校の安全管理体制の点検を行うとともに、学校と子供安全ボランティアとが連携した安全管理の在り方について協議し、学校の安全管理に関する取組の一層の充実を図る。</li> </ul>	(学務課) <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の関係団体との連携・協力を図るため、地域で活動されている団体の現状や、地域での見守りの手法などについて、地域で活動されている方々と意見交換を行った。</li> </ul> (教育指導課) <ul style="list-style-type: none"> <li>・市内全小学校で開催された学校安全連絡会において、スクールガードリーダーが地域における登下校時の危険箇所や、自転車の乗り方、不審者対応など、学校安全についての課題を共有するとともに、対応策を協議し、学校、保護者、地域が一体となった安全指導の取組の推進を図った。</li> </ul>

# 令和6年度の教育に関する重点施策に基づく事務事業

総合教育会議 資料1  
令和7年2月18日  
企画部企画政策課

## 4 学びの機会の充実と地域の学習資源の活用

事業名(所管課)／ 事業の進行管理・評価を行う計画等	事業概要	令和6年度の主な取組内容	令和6年度の取組(実績) 数値は速報値
<p>図書館司書によるアウトリーチ型連携事業の推進 (図書館)</p>	<p>教育・地域交流・子育て支援等の他分野において図書館司書によるアウトリーチ型連携事業を実施する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・まちなか先生(学校出前講座)を実施</li> <li>・絵本と子育て事業(ブックスタート事業)を実施</li> <li>・保育園や児童館等で、武蔵野大学とも連携した乳幼児向けおはなし会を実施</li> <li>・小学校で出張おはなし会・ブックトーク(放課後子供教室)を実施</li> <li>・小中学校の学校司書や図書委員と連携して、図書委員の企画への支援を実施</li> <li>・市民グループとの共催事業や民間施設との連携事業を実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・まちなか先生(学校出前講座)を小学校8校・27クラスで実施。</li> <li>・絵本と子育て事業を1月までに934人に実施(年28回予定)。</li> <li>・保育園等で乳幼児向け「おでかけおはなし会」を1月までに5回実施し、子ども51人、大人19人が参加(年16回・9か所予定)。</li> <li>・出張おはなし会・ブックトークを小学校4校で実施し、66人が参加。</li> <li>・保谷中学校の図書委員と連携した企画展示を2回実施。</li> <li>・MUFG PARK開園1周年記念イベントでおはなし会を2回実施し、子ども19人、大人21人が参加。</li> <li>・武蔵野大学及び市民団体との共催イベントとして企画展示を実施。</li> <li>・市民団体との共催でわらべうた講座を2回実施。</li> </ul>
<p>障害のある人とともに学べる事業 (公民館)</p> <p>【西東京市教育計画 4-1-①】</p>	<p>交流を通し、相互に理解を深められる学習機会の充実を図る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・柳沢公民館で「みんなで踊ろう！やぎさわディスコ」を実施。障害の有無や年齢に関係なく、だれもが参加できるディスコで、市民団体等が組織した実行委員会と共催で行う。</li> <li>・谷戸公民館で“インクルーシブな社会をめざす講座「ポッチャでなかまづくり～親子でポッチャ～」”を実施する。親子を対象に、障害の有無にかかわらず、一緒にポッチャを楽しむ全8回の講座。市内在住の身体障害のあるポッチャ選手との交流や、障害のある方も参加している自主サークルとの交流戦も行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・柳沢公民館主催事業「みんなで踊ろう！やぎさわディスコ」「やぎさわディスコ実行委員会」と共催で実施。(4回実施)</li> <li>参加者数:115名、運営ボランティアスタッフ数:延べ59名</li> <li>障がいのある方、高齢の方も参加し、多様な市民が交流する機会となった。</li> <li>・谷戸公民館主催事業“インクルーシブな社会をめざす講座「ポッチャでなかまづくり～親子でポッチャ～」”(8回実施)</li> <li>参加者数:親子7組(14人)</li> <li>1月19日には、講座の一環として、親子ポッチャ大会を実施。親子15組(31人)が参加。</li> </ul>
<p>西東京縁の人物の著作や関連資料・情報の収集と発信 (図書館)</p> <p>【西東京市教育計画 4-3-②】</p>	<p>図書館が収集している西東京市縁の人物の著作や関連資料・情報を更新し、随時図書館ホームページに公開する。また、収集した資料の活用を促すために様々な企画を行う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・図書館が収集している西東京市縁(ゆかり)の人物の情報を更新するとともに、図書館ホームページの「西東京市 縁の方の紹介」ページに新たにコンテンツを設け、縁の方を1名ずつ取り上げ、特集として紹介する。</li> <li>・中央図書館に設置している「縁のコーナー」の書架に、従来のものから改良した見出し板(西東京市の縁である理由や代表作などを紹介)を掲示するほか、「縁のコーナー」がない地域館に期間限定展示として「縁のコーナー」を設けることで、縁の人物の周知及び資料の利用促進を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中央図書館以外の市内図書館5館において、「巡回展示 縁」を開催。縁の方のオススメ本や人物紹介POPも作成し、関連書籍とともに展示を行った。(保谷駅前:6月1日～30日、谷戸:7月26日～8月28日、芝久保:9月6日～10月16日、柳沢:10月25日～11月28日、ひばりが丘:1月10日～2月20日)</li> <li>・図書館ホームページの新しいコンテンツとして「ポップアップ縁」を作成し、展示で使用したPOPを中心に縁の人物についての紹介を行った。</li> <li>・中央図書館書架「縁コーナー」の見出し版を改良し、代表作や「縁」の理由などの記載を加えた。</li> </ul>
<p>文化財資料の調査・研究 (社会教育課)</p> <p>【西東京市教育計画 4-3-③】</p>	<p>市内にある文化財を把握するとともに、整理、記録、資料のデジタル化等により、その所在と価値を明らかにする。また、文化財を地域、自然、環境、歴史、文化等の様々な地域資源とともに総合的に捉えて新たな価値付けを行い、一定のテーマの下にわかりやすく伝える。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・下野谷遺跡をはじめとした、埋蔵文化財の発掘調査と出土品の整理を実施する。</li> <li>・市内にある文化財の把握のため、市民調査員などを活用した調査や記録を行う。</li> <li>・下野谷遺跡の植生調査など市民との協働による調査・研究を実施する。</li> <li>・新たな試みとして、劣化した石造物の記録保存等のために3Dデータを作成する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市内遺跡を確実に保護・保存し未来へ継承していくために、一年を通して市内遺跡発掘調査を実施し、その調査結果の記録を作成した。</li> <li>・市内文化財の管理者と今後の管理方法や保護について丁寧に相談を行うことで、市民からの協力・協働を取り入れ、市民の力を活用した文化財保護に取り組んだ。</li> <li>・市指定文化財のうち劣化した石造物の記録保存について、3Dデータ化作業を行い、文化財の保護・保存としてのみならず、子どもたちの学習機会や学術的利用にデータを活かしていく。</li> <li>・縄文時代の植生調査研究の取組「したのや縄文菜園」について、秋まつりにおいて縄文植物の栽培成果を来場者に披露、解説を行い、一層の普及啓発と理解醸成を図った。</li> </ul>